

# 演習Ⅱ

担当者 石川 雄一

開講時期 通年 単 位 8

## ●講義の概要

修論テーマに従って、修論の指導を行う。論文作成に並行して、資料の分析方法、地域統計データの分析方法、分析結果の図表化などの指導を行う。

## ●講義の到達目標

次の点に留意して修士論文を作成する。

- ・自らの研究目的・計画に妥当性があるか。
- ・地域統計データの正確な考察・表現（地図化）が行われているか。
- ・分析資料の正確な考察と表現（図表化）が行われているか。

## ●講義計画

- 第1回 修論研究計画の確認
- 第2～5回 修論に必要な資料収集と確認
- 第6～9回 修論に必要な調査研究法の指導
- 第10～14回 分析の継続と図表類の仮作成
- 第15回 修論計画の振り返り
- 第16回 修論計画の確認と修正
- 第17～19回 修論中間報告に向けた資料作成へのサポート
- 第20～26回 修論各章構成の指導と論文制作
- 第27～29回 修論の最終チェック
- 第30回 総括（修論計画の振り返り）

## ●成績評価基準と方法

次の取り組みを次の割合で評価する。

- 授業時の研究成果報告（30%）、
- 中間発表会の成果（20%）、
- 修士論文の内容（50%）

## ●テキスト又は参考文献

テキストは使用しない。修論指導に応じて、必要な論文や書籍の紹介を逐次おこなう。

## ●受講上の留意点

授業時以外にも、修論作成上必要な指導を行うので、指導教員との連絡を密に行うこと。